

今月のこの1冊

ノックノック みらいをひらくドア

ダニエル・ピーティー 文
ブライアン・コリアー 絵

パパはまいあさほくのへやをノックする。ふたりでおきまりのノックノックゲームをするのが、ぼくたちのにっかだった。

でもあるあさ、いくらまってもノックのおとはしなかった。

パパはいなくなってしまった。ぼくは「パパかえってきて」とてがみをかいた。まだたくさんおしえてほしいことがあったからだ。パパからのへんじはくるのでしょうか。



【開室時間】火～金曜日 10:00～20:30
土・日曜日 10:00～17:00
祝日3日 10:00～17:00
【休室日】毎週月曜日
※23日(月)は祭日のため返却ポストも使えません

新しく購入した図書(主なもの)

- 一般書 ●
 - ・まにまに 西加奈子
 - ・中野のお父さん 北村薫
 - ・羊と鋼の森 宮下奈都
 - ・ブラージュ 譽田哲也
 - ・琥珀のまたたき 小川洋子
 - ・左近 火坂雅志
 - ・服従 ミシェル・ウエルベック
- 児童書 ●
 - ・お船が出る日 小林豊
 - ・岸辺のヤービ 梨木泉歩
 - ・はずかしがりやのバナナくん 岡田よしたか
 - ・天と地の方程式 富安陽子
 - ・鏡の世界 コルネーリア・フンケ

みんな集まれ! 子どもの広場・おはなし会

◇子どもの広場

内容 「ばたばたペンギン」をつくります
日時 11月21日(土)10:00～
持ち物 はさみ・カラーペン
対象 5歳以上(未就学児は保護者同伴)
場所 町民センター2階 小会議室A
申し込みは直接図書室へ 又は、☎82-5221

◇おはなし会(第2土曜日、第3水曜日)

日時 11月14日(土) 10:30～
11月18日(水) 15:00～
場所 町民センター3階図書室
申し込みはいりません

毎月1日は、【開成ファミリー読書デー】
家族みんなで本を読もう!

●家庭・地域・学校などでの読書活動を推進するため、開成町では毎月1日を「開成ファミリー読書デー」にし、読書活動を推進します。

かいせい
安全・安心だより

☎環境防災課 ☎84-0314

県内の110番通報件数は、1年間に約95万件にもなります。

110番は緊急電話

110番は、事件・事故など警察に緊急通報するための専用電話で、その回線数も電話局や通信事業者ごとに限りがあります。緊急でない相談ごとや電話番号のお尋ねなどに使用すると、事件・事故の際にかかりにくくなってしまいます。

相談ごとなどは、最寄りの警察署、交番・駐在所又は各種の相談電話をご利用ください。

110番は無料で、市外局番はいりません

家庭の電話や携帯電話、スマートフォンなどから110番通報しても通話料はかかりません。また、どこからかけても、市外局番なしの110番です。

110番のしくみ

皆さんからの110番を受け付ける「110番センター(通信指令室)」は、横浜市中区の警察本部にあります。県内からの110番は、どこからかけても全てこの「110番センター」につながります。

受け付けた110番は、コンピューターで処理され、事件・事故などの発生場所を管轄する警察署に指令するとともに、GPS衛星を利用し、発生場所に最も近いパトカーを急行させることができます。

目指せ! 日本一きれいな町!
☎環境防災課 ☎84-0314

資源ごみの分別マナーの向上にご協力を!

町では、資源ごみの収集日に紙・布・ペットボトルなどの資源物を回収していますが、分別マナーが守られていないものも多く見受けられます。分別がきちんとされていないと収集の支障となり、スムーズな再資源化ができません。ごみを出す前に、町民カレンダーなどで確認しましょう。

分別時の注意点

- ・必ず、品目ごとに分けて出しましょう。
- ・紙類は、ひもなどで十字に縛りましょう。
- ・細かい雑がみは紙袋にまとめて出しましょう。
- ・汚れたティッシュペーパーはもえるごみへ。
- ・キャップ付きの紙パックは、キャップ部分を切り取りましょう。

出し方の悪い例



品目ごとにひもで縛られていない



雑がみと紙パックが分別されていない

*文芸

開成俳句会 俳句

酌み交わす初老の集い今年酒
紅葉の錦織り成す南禅寺
新酒酌み江戸惚ぼるる酒の蔵
少女らの白き指より赤い羽根
新酒酌む笑ひの渦の広がりぬ
「売家」と貼紙のあり烏瓜
亡き夫に先づ一杯供へ新酒酌む
女子会の口滑らかや今年酒
曼珠沙華たった一本道端に
水の秋延命水を深飲みす

波多野すみ枝 有賀孝子
瀬戸悦子 下澤操子
奥津らわき 遠藤まつ子
遠藤マツエ 遠藤美津子
濱本主雄 遠藤美津子
遠藤美津子 濱本主雄
選者吟

十月吟

持ら寄りの宴に光る今年酒
気の合ったお仲間か、ご近所の方々か何れにしても一品持ち寄りの宴会。和やかな気分が溢れている様子が伝わって来ます。煮物、揚げ物おつまみと各自の得意料理を一品持ち寄りその自慢ばなしも香。座の中央の新酒は女性軍も杯を重ね心地良い佳句です。
新井たか志 選評

ともしび短歌会 短歌

客の話急にとぎれし座敷うち
庭に鳴く虫のこゑ高まりぬ
人は、往々にして何かに夢中になっている時、周りのことに気づかないが、急な変化時に見えたり聞こえたりすることがある。その変化時を逃さず映し取る手法に、この作者の感覚の鋭さを見る。
吉田志麻
葉を持たぬ炎の姿の彼岸花
群れて咲いても孤独の影見ゆ
四句目までは、彼岸花の一般的な特性を描出している。しかし、結句では、群生中のどれかが孤独感を漂わせていると捉えた。作者の繊細さが生み出した新感覚に基づき、彼岸花に対する発見の歌。
辻岡洋子
近藤正臣 選

九月詠

「梅干が上手く出来た」と女の言ふ
「猛暑が味を引き出すのだ」と
「上・下の句」のセリフ(結果と理由の対比構成が、この歌を面白くしている。今年も猛暑日が続き閉口したが、梅干作りには、欠かせない要素だと分かる。是非賞味にあずかりたい一品である。
杉本シズ子

生き生き レポート



☎文命中学校 ☎83-1386

地区防災訓練に参加して

8月30日(日)、町防災訓練に全校をあげて参加しました。今年で3度目の防災訓練で、様々な工夫を凝らした防災活動を通して地域の皆さんのご指導のもと、中学生としてできることを体験・実感できたことは生徒たちにとって大きな経験になりました。

3年生の感想に、「3年間、防災訓練に参加していろいろな訓練に取り組めたので、災害が起きたときには同学年の人たちや1、2年生と一緒に少しでも役に立ちたいと思った」とありました。

校長 中村俊文

